



- Aコース:神秘の恐山宿泊とまぐろの町 大間の旅 3日間
Bコース:下北の美食とまぐろの町 大間の旅 3日間
Cコース:津軽・下北周遊とまぐろの町 大間の旅 4日間
Dコース:函館から大間へ 津軽海峡とまぐろの町 大間満喫の旅 5日間
Eコース:三陸海岸から下北半島へ まぐろの町大間の旅 5日間

「大間まぐろデー」を楽しみます

まぐろの町大間と下北半島で 秋の特別プログラムを企画してきました

年に数回、日本のひとつの地域を深掘りして全国の皆様にご紹介する「日本旅百景 特別企画」。5月の姫路城、7月のヴァルトビューネ河口湖の企画はともに100名様近くのお客様にご参加、ご予約をいただいておりますが、今回、秋にはちょうど大間のまぐろが旬を迎えるということで、本州最北端、大間で特別なことができないかと、東京支店の国内担当3名で現地を訪問しました。

まぐろの町 大間で まぐろの祭典をふたたび

近年、まぐろ漁などがメディアでも取り上げられ、「まぐろの町」として全国的に知られるようになった大間。2025年

の豊洲市場の初セリでは、大間の276キロのクロマグロが2億700万円で競り落とされ大きな話題となりました。

その希少性から「黒いダイヤ」とも呼ばれる大間産のまぐろ。大々的にツアー化できないかと現地に



視察者:左から東京支店の牧原、吉田、春名

大間を全国区にした立役者 島康子さんとの出会い

下北の観光振興を担う「下北ツーリズム」の萬谷さんと共に大間を訪問。そこでつないでくれた現地のキーパーソンが島康子さんです。島さんは大間出身。東京の大学を卒業後、大間に戻り、当時は本州の最果てのさびれたイメージが強かった大間の町おこしに尽

力。ホームページやまぐろグッズなどを通じて「まぐろの町 大間」を全国区に広めた立役者です。今回は、ツアーが大間に到着後、まず島さんから「どうして大間がまぐろの町になったのか」「大間漁師の生活」など大間について深く知るお話を伺う機会を作ることができました。また、島さんとも



大間漁港にてまぐろポーズ。島康子さん(左から2番目)としもきたツーリズムの萬谷さん(左から3番目)と視察メンバー(牧原、春名)

として大間のまぐろ尽くし丼を昼食にご用意しました。この地であれば食べられない、贅沢なまぐろ丼をお召し上がりいただきました。

恐山では宿坊も視察

大間とともに下北半島でぜひ訪れたい訪問地が、日本三大霊場に数えられる恐山です。「この世のものとは思えない」光景から霊場や極楽浄土に例えられ、実際に歩いてみてもやはり自然の神秘を感じずにはいられない場所でした。恐山では荘厳な本殿である地藏殿に参拝後、境内の奥へ。火山岩で形成された「地獄」には供養のために積まれた石や風車などがそこかしこに置かれています。地獄を辿ったら恐山の中央に位置する宇曽利湖(うそりこ)の湖畔へ。ここは極楽浜と呼ばれ、透き通った宇曽利湖が極楽へと誘うかのような神秘的な光景をご覧いただけます。恐山で唯一の宿坊、吉祥閣も見せていただきました。宿坊とはいえ非常に洗練された施設で、内部も宿泊客が快適に過ごせるつくりになっています。朝夕の精進料理も質の高いもので、大浴場には恐山境内にある「花染(はなぞめ)の湯」から引いた大浴場も完備。花染めの湯は参拝客誰もが利用できるものの混浴のため入りづらい

下北最奥に位置する 秘境の絶景 仏ヶ浦へ

下北半島のもうひとつの見どころが仏ヶ浦です。下北半島の東岸に位置し、最も訪れにくい場所にある仏ヶ浦。断崖絶壁にあるため陸路では訪問が難しく、佐井港から船での見学が一般的です。今



本州最北端 大間崎



大間まぐろの解体(イメージ)



大間のまぐろ丼(イメージ)



大間のまぐろが贅沢に盛られたまぐろ丼を美味しくください



大間は海を通じて台湾とも交流があり、稲荷神社には海の神媽祖が祀られています。

大間でまぐろを満喫する プログラム

大間の文化的な背景を知って

いただいたところで、やはりメインの楽しみは本場の「大間のまぐろ」ということで、本州最北端、大間崎にあるまぐろ食堂「大間んぞく」さんに協力を依頼し、まぐろの解体も実際にご覧いただけるプログラムが実現しました。食品衛生上、調理場での解体を間近で見学する形ではありますが、丸々とした本

マグロを解体する姿はまさに圧巻です。ランチ前ではありませんが、切ったばかりのまぐろの試食もお願いしてきました。また、周辺の大間崎はまぐろの店がずらり。散策の時間もお取りします。配送もできるので、ご帰宅後にまぐろを楽しむことや、ご家族ご友人におすそ分けも可能です。そして締め



視察日(5月1日)は仏ヶ浦遊覧船の今年初便。佐井村長や佐井村のマスコット雲丹(うんたん)が見送りに



遊覧船から望む仏ヶ浦

回は特別企画ということで、船を一艘チャーターし、ワールド航空のお客さまだけで遊覧を楽しむほか、仏ヶ浦の上陸観光にも時間をとってご案内する行程といたしました。視察時には佐井港まで戻る行程でしたが、チャーター船を利用することで、佐井港からよりむつ市に近い牛滝港までの遊覧で効率的に巡ります。

視察で生まれた 新たな特別プログラム 「下北の能舞」も

視察を通じ新たな特別プログラムも生まれました。それが「下北の能舞」です。多くの民俗芸能が残る下北の中で、恐山で修業する山伏によって伝えられたという修験能。鎌倉時代から現在に至るま

で伝え継がれている東通能舞があるという話を聞き、さっそくお願いしたところ、ツアーでの披露を快諾いただきました。むつ宿泊中に夕食と共にご案内します。
※Aコースのみ恐山宿泊のためご覧いただけません。他コースは共通。

下北の質の高い「食」にも ご注目ください

大間のまぐろがクロースアップされがちですが、下北は海産物や、地の野菜、大間牛やほろよい豚、津軽海峡の外洋で養殖される津軽サーモンなど地元食材も豊富な地域です。今回の視察では、それらの質の高い食材を扱う美食のレストランや寿司店、郷土料理店を実際に食べて探してきました。

A・Bコース共通 フレンチ&イタリアン アグレアーブル

下北の美食を語るうえで外せないのがアグレアーブルです。東京・丸の内のレストラン「ミクニ」の副料理長、銀座「アズカフェ・ミクニ」の料理長を経て、2005年に地元むつ市に帰郷。「アグレアーブル」を開店したのが、オーナーシェフの竹川克範さん。「地域の食文化の指針



下北ツーリズムとの打ち合わせの様子

になるような場所をつくりたい」として、下北の季節の素材にこだわった料理を提供しています。ツ



下北を代表するローカルガストロノミーレストラン「アグレアーブル」



海峽サーモンのミ・キュイ（視察時撮影）

D・Eコース共通 和風料理 楠こう

地元の人も会食といえばこの店、という人気の郷土料理店が「和風料理 楠こう」です。地元の人を訪れるためメニューが豊富。みそ貝焼きやうにめしといった下北の名物料理がふんだんに供される下北御膳は、下北に来たら必食という料理がずらりと並びます。D、Eコースでは旅の最後のランチにご用意しました。



下北の名物の味を揃えた楠こうの一番人気「下北御膳」。右は下北名物のみそ貝焼き

B・Eコース共通 津軽海峡の食材を創作和 食に「鮭割烹 東寿し」

むつ市の中心部に位置する老舗寿司店「東寿し」。津軽海峡や陸



東寿しのご主人 柿本泰平さん



旬の食材を用いた白燗の一品料理
(季節により内容は変わります)

奥湾で獲れた海の幸を使った握りはもちろん、ご主人の柿本泰平さんが季節ごとに創作する和の一品料理も人気です。握りと小鉢を合わせた質の高い食の数々をお楽しみください。

大間の旅 全5コース ツアー紹介

まぐろの解体、試食、語り部と一緒に巡る 大間漁港散策など「大間まぐろデー」を楽しめます



A・Bコースの舞台は、国内旅行でも訪れる機会の少ない下北半島。県の中心、青森市からもバスで2時間以上もかかる本州最北端の地で、「最果て」を感じさせてくれる風景と、まぐろを代表とする豊かな食材、そして文化が残されています。この下北半島の魅力をご紹介します。3日間にわたり下北半島に滞在し、楽しんでいただこうと企画しました。

今や日本だけでなく、世界にもブランド化された「大間のまぐろ」を楽しむ「大間まぐろデー」を中心に、恐山、仏ヶ浦、尻屋崎と下北半島を代表する風景を訪問。そして北前船で京都、関西の文化が伝わったといわれる伝統芸能の特別公演や、まぐろと共に下北を代表する食材を下北半島の注目を集めるレストランで食すプログラムなど、下北半島の魅力を凝縮してご案内いたします。

また、Aコースは新しく快適になった、わずか30室の恐山の宿坊「吉祥閣」での宿泊もポイントです。

全コース共通 まぐろの町大間を知る 特別プログラム 大間まぐろデー

下北半島の突端に位置する大間崎は本州最北端、北海道までは津軽海峡を挟んで、わずか17・5キロ。大間といえば、黒いダイヤと呼ばれる天然本まぐろ「大間のまぐろ」。その品質はブランド化されており、今や全国的に有名です。今回は、日本旅百景 秋の特別企画として、まぐろの町大間を味覚

と共に深く知る特別プログラムをご用意しました。

特別プログラム①② 語り部 島康子さんによる 大間の講演と漁港散策

長年大間の町おこしに尽力し、本州最北端の漁港であった大間を全国的な「まぐろの町」として知られるきっかけを作ったのが大間の地域振興会社Yプロジェクト代表の島康子さんです。大間を知るプログラムの最初は、島さん

から「どうして大間がまぐろの町になったのか」「大間漁師の生活」など大間について深く知ってお話を伺い、島さんと一緒に実際にまぐろが水揚げされる大間漁港や漁港に近い大間稲荷神社を訪ねます。

特別プログラム③④ 大間のまぐろ解体見学と 大間崎見学

島さんのお話を聞いたあとは、大間のまぐろを実際にご覧いただきます。「大間んぞく」の店頭に

て、まぐろの解体の様子を見学。解体したまぐろの試食もお楽しみいただきます。「大間んぞく」の向かいには本州最北端の地である大間崎。天気が良ければ北海道、函館方面を間近にご覧いただけます。展望所やまぐろをはじめとする海産物やまぐろグッズの販売店が並ぶ、大間崎の散策の時間もお取りします。

特別プログラム⑤ 大間のまぐろ尽くしの昼食

まぐろの町大間特別プログラムの最後は、なんといってもまぐろの味覚です。大間温泉海峡保養センターにて、大トロ、中トロ、赤身を贅沢に盛った大間のまぐろ尽くし丼をご用意しました。9月から12月にかけて旬を迎える大間のまぐろ。脂ののった本まぐろをお召し上がりください。



まぐろ丼(イメージ)



仏ヶ浦

Cコース

津軽・下北周遊と
まぐろの町
大間の旅 4日間

楽
お荷物
サービス

集合・日数・出発日	旅行代金
【東京駅集合・4日間】 10月1日(水)	¥288,000
【新千歳空港集合・4日間】 10月1日(水)	¥278,000

(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥26,000にて承ります。)

東京駅集合コースの現地合流プラン：
七戸十和田駅合流（出発）/新青森駅離回（帰着） 旅行代金より ¥33,000引き

1	東京駅 09：08 発⇄七戸十和田駅 12：14 着 ●恐山（●霊場） 恐山の見学にご案内します）⇄むつ 17:00 着（夕食はホテルにて） 【2連泊】（むつ泊）□□夕
2	むつ 07：45 発⇄大間 【まぐろの町大間を知る特別プログラム 大間まぐろデー】 ① 大間の語り部島康子さんによる大間の文化講演 ② 大間散歩（○大間稲荷神社、大間漁港） ③ 大間のまぐろ解体とまぐろ試食 ④ 本州最北端、大間崎散策 ⑤ 大間のまぐろ尽くし丼の昼食 ⇄佐井港（○仏ヶ浦遊覧（注1））⇄牛滝港⇄むつ 16：30 着 （夕食はホテルにて東通村伝統の「下北の能舞」をご覧ください） （むつ泊）朝昼夕
3	むつ 09：00 発⇄脇野沢港 10：50 発（むつ湾フェリー）⇄ 蟹田港 11：50 着⇄龍飛（●青函トンネル記念館、○階段国道、○龍飛崎にご案内します）⇄龍飛崎温泉 16：30 着 （龍飛崎温泉泊）朝昼夕
4	龍飛崎温泉 08：00 発⇄○高山稲荷神社⇄中泊町（中泊の宮越家に残る小川三知のステンドグラス、秋季特別公開にご案内します（注2））⇄新青森駅 15：52 発⇄東京駅 19：04 着 朝昼□ ご自宅までお荷物を託送します。

(注 1) 悪天候などにより遊覧できない場合は、乗船代を返金いたします。
(注 2) 宮越家へは中泊町にてシャトルバスに乗り換えてのご案内となります。

■新千歳空港発着プラン
往路：新千歳空港 09：40 発→青森空港 10：25 着 青森空港到着後、バスにて七戸十和田駅へ。 着後、東京駅発着グループと合流します。 復路：新青森駅に到着後、引き続き青森空港へ。 青森空港 16：25 発→新千歳空港 17：15 着 着後、解散となります。

■最少催行人員：12名様 ■食事：朝食3回、昼食3回、夕食3回
■添乗員：東京駅、新千歳空港ご出発時から東京駅、新千歳空港ご到着時まで同行します。
■ホテル：むつ／むつグランドホテル（洋室）、龍飛崎温泉／ホテル竜飛（和室）
■利用予定バス会社：下北交通または同等クラス
■利用予定運送機関：新幹線普通車指定席



津軽半島の最北端となる岬、龍飛崎。西は日本海、北は津軽海峡、そして東は陸奥湾と三方を海に囲まれ、強い海風が吹くところから「風の岬」とも呼ばれます。『津軽海峡冬景色』の歌でよく知

られますが、珍しい「階段国道」も近年注目を集めています。国道なのに車やバイクは通行できない、ちよつと思ふ感覚になるスポットです。今回は龍飛崎の唯一のホテル「龍飛崎温泉 ホテル竜飛」に宿泊し、青函トンネル記念館も含め、龍飛崎をじっくりと訪ねます。



龍飛崎から見える「ホテル竜飛」。津軽海峡最北端の宿に宿泊です

中泊町の旧家である、宮越家が
大正9年に完成させた離れ「詩夢庵（しむあん）」と枯山水・池泉庭園を融合した「静川園（せいせんえん）」は通常非公開ですが、年に2回、完全予約制で鑑賞できるようになり、今回は秋の特別公開に合わせて訪問します。とくに、日本におけるステンドグラス作家の先駆者である小川三知（おがわさんち、1867〜1928）によって制作されたステンドグラスは必見です。小川三知の最高傑作とされ、100年以上もの間、破損もなくひっそりと残され「奇跡のステンドグラス」といわれています。また狩野山楽の作品と伝え



涼み座敷の間ステンドグラス（四季花木障子）

Cコースは、本州最北端に位置する青森県北部、太平洋側にせり出す下北半島から日本海側にせり出す津軽半島へと、2つの半島を巡るコースです。下北半島からは陸奥湾フェリーで津軽半島へ。龍飛崎のホテルに宿泊し、津軽半島最北端の龍飛崎、青函トンネル記念館を訪れます。また、津軽半島中央部の中泊町にある通常非公開の「宮越家」を訪ね、日本のステンドグラス作家の先駆者・小川三知（おがわさんち）によって制作されたステンドグラスをご覧くださいます。完全予約制ですので、今回の訪問は貴重な機会といえましょう。千本鳥居で知られる高山稲荷神社にも足を延ばし、これまで訪れるツアーが少なかった奥津軽の魅力をご案内します。



龍飛崎の近郊名所の一つ「階段国道」。国道でありながら車もバイクも通れず、歩行者しか通れません

通常非公開で完全予約制の「宮越家」では奇跡のステンドグラスを鑑賞

られる襖絵や、贅を凝らした調度品、京都東山の「白沙村荘」の影響が随所に見られる庭園「静川園」など見どころが多く、今回はこれらを鑑賞できる貴重な機会です。

下北半島に残る民俗芸能のひとつに「能舞」があります。鎌倉時代にはその基礎ができたと考え、恐山を修業場とする山伏たちがこの地に伝え、さらに民俗の祭りと融合して現在まで受け継がれています。今回は、東通村に伝わる「下



(左右)東通村に伝わる能舞（イメージ）

Bコース

下北の美食と
まぐろの町
大間の旅 3日間

同額
お一人様参加
追加無し
シングルルーム

集合・日数・出発日	旅行代金
【東京駅集合・3日間】 10月1日(水)	¥238,000
※1名室利用追加代金なし 1名室利用の客室タイプはシングルルームとなります。 現地合流プラン：七戸十和田駅合流（出発）/七戸十和田駅離回（帰着） 旅行代金より ¥32,000引き	
1	東京駅 09:08 発⇄七戸十和田駅 12:14 着 ⇄○尻屋崎（津軽海峡と太平洋の境界を眺めます）⇄むつ 17：00 着（夕食はむつの食材を使ったフレンチの名店「アグレアーブル」にて） 【2連泊】（むつ泊）□□夕
2	むつ 07：45 発⇄大間 【まぐろの町大間を知る特別プログラム 大間まぐろデー】 ① 大間の語り部島康子さんによる大間の文化講演 ② 大間散歩（○大間稲荷神社、大間漁港） ③ 大間のまぐろ解体とまぐろ試食 ④ 本州最北端、大間崎散策 ⑤ 大間のまぐろ尽くし丼の昼食 ⇄佐井港（○仏ヶ浦遊覧（※））⇄牛滝港⇄むつ 16：30 着（夕食はホテルにて東通村伝統の「下北の能舞」をご覧くださいながらお召し上がりください） （むつ泊）朝昼夕
3	むつ 09：00 発⇄恐山（●霊場恐山の見学にご案内します）⇄昼食は津軽海峡で取れた海産を使った寿司とともに創作和食を供する東寿しにて⇄七戸十和田駅 14：53 発⇄東京駅 18：04 着 朝昼□

※悪天候などにより遊覧できない場合は、乗船代¥3,000 を返金し、バスにてむつへ向かいます。

■名古屋駅発着プラン（追加料金 往復¥20,000にて承ります。）
1日目：名古屋駅 07：03 発⇄東京駅 08：39 着（のぞみ 212 号）
3日目：東京駅 18：30 発⇄名古屋駅 20：09 着（のぞみ 81 号）

■最少催行人員：12名様 ■食事：朝食2回、昼食2回、夕食2回
■添乗員：東京駅ご出発時から東京駅ご到着時まで同行します。
■ホテル：むつ／プラザホテルむつ（洋室）
■利用予定バス会社：下北交通または同等クラス
■利用予定運送機関：新幹線普通車指定席



Aコース

恐山では菩提寺境内の宿坊「吉祥閣」に泊まる

下北半島のほぼ中心に位置する恐山。比叡山、高野山と共に日本三大霊場の一つで、862年に慈覚大師円仁によって開山されました。この菩提寺の境内にあるのが、宿坊「吉祥閣」です。このたびツアーでの宿泊が可能となりました。

北の能舞」を、特別にプラザホテルむつの会場にて披露いただけることになりました。夕食をお召し上がりいただきながら、民俗芸能にふれるひとときもお楽しみください。

Aコース

神秘の恐山宿泊と
まぐろの町
大間の旅 3日間

集合・日数・出発日	旅行代金
【東京駅集合・3日間】 10月1日(水)	¥238,000
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥30,000にて承ります。) 現地合流プラン：七戸十和田駅合流（出発）/七戸十和田駅離回（帰着） 旅行代金より ¥32,000引き	
1	東京駅 09:08 発⇄七戸十和田駅 12:14 着 ⇄○尻屋崎（津軽海峡と太平洋の境界を眺めます）⇄むつ 17：00 着 （むつ泊）□□夕
2	むつ 07：45 発⇄大間 【まぐろの町大間を知る特別プログラム 大間まぐろデー】 ① 大間の語り部島康子さんによる大間の文化講演 ② 大間散歩（○大間稲荷神社、大間漁港） ③ 大間のまぐろ解体とまぐろ試食 ④ 本州最北端、大間崎散策 ⑤ 大間のまぐろ尽くし丼の昼食 ⇄佐井港（○仏ヶ浦遊覧（※））⇄牛滝港⇄恐山 16：30 着（宿泊は恐山唯一の宿坊、吉祥閣です。恐山にある湯のひとつ、花染の湯から引かれた大浴場は宿泊者のみがゆっくりと楽しむことができます。夕食は精進料理をお召し上がりください） （恐山泊）朝昼夕
3	朝、恐山の地蔵殿にて朝の参行へ。その後、●霊場恐山の見学にご案内します。 恐山 10：00 発⇄むつ⇄アグレアーブル（フレンチの昼食）⇄七戸十和田駅 14：53 発⇄東京駅 18：04 着 朝昼□

※悪天候などにより遊覧できない場合は、乗船代¥3,000 を返金し、バスにて恐山へ向かいます。

■名古屋駅発着プラン（追加料金 往復¥20,000にて承ります。）
1日目：名古屋駅 07：03 発⇄東京駅 08：39 着（のぞみ 212 号）
3日目：東京駅 18：30 発⇄名古屋駅 20：09 着（のぞみ 81 号）

■最少催行人員：12名様 ■食事：朝食2回、昼食2回、夕食2回
■添乗員：東京駅ご出発時から東京駅ご到着時まで同行します。
■ホテル：むつ／むつグランドホテル（洋室）、恐山／宿坊 吉祥閣（バスなしトイレ付和室）恐山の温泉から湯を引いた大浴場をご利用いただけます。強力な硫黄分のために、電気製品はすぐに腐食してしまつたため、お部屋にテレビ、冷蔵庫がなかったり、携帯電話がつかないなど不便なこともあります。
■利用予定バス会社：下北交通または同等クラス
■利用予定運送機関：新幹線普通車指定席



E コース

三陸海岸から下北半島へ
まぐろの町大間の旅

5日間



集合・日数・出発日	旅行代金
【東京駅集合・5日間】 9月29日(月)	¥348,000
【伊丹空港集合・5日間】 9月29日(月)	¥365,000

(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥32,000にて承ります。)
東京駅集合コースの現地合流プラン：
盛岡駅合流(出発)/七戸十和田駅離泊(帰着) 旅行代金より ¥30,000引き

1	東京駅 10:18 発 ⇨ 盛岡駅 12:29 着 ⇨ ○浄土ヶ浜 14:30 着 (遊覧船にて浄土ヶ浜を船上からも見学※します) ⇨ 浄土ヶ浜 パークホテル 【2連泊】(浄土ヶ浜泊) □□夕
2	浄土ヶ浜 ⇨ 北山崎展望台 ⇨ ●龍泉洞 (エメラルドブルーの地 底川が印象的な鍾乳洞) ⇨ 北山崎遊覧船※ ⇨ 浄土ヶ浜 (夕刻、 宮古市小国地区に伝わる伝統芸能「末角神楽」の公演をご覧い たいただきます) (浄土ヶ浜泊) 朝昼夕
3	浄土ヶ浜 ⇨ 宮古駅 ⇨ 三陸鉄道の乗車 ⇨ 久慈駅 ⇨ (種崎海岸 の風景を見学) ⇨ むつ (夕食は津軽海峡の海鮮を使った寿司と とともに創作和食も供する東寿しにてお召上がりください) 【2連泊】(むつ泊) 朝昼夕
4	むつ 07:45 発 ⇨ 大間 【まぐろの町大間を知る特別プログラム 大間まぐろデー】 ① 大間の語り部島康子さんによる大間の文化講演 ② 大間散歩(○大間稲荷神社、大間漁港) ③ 大間のまぐろ解体とまぐろ試食 ④ 本州最北端、大間崎散策 ⑤ 大間のまぐろ尽くし丼の昼食 ⇨ 佐井港 (○仏ヶ浦遊覧(※)) ⇨ 牛滝港 ⇨ むつ 16:30 着 (夕食はホテルにて東通村伝統の「下北の能舞」をご覧いた きながらお召上がりください) (むつ泊) 朝昼夕
5	むつ 09:00 発 ⇨ 恐山 (●霊場恐山の見学にご案内します) ⇨ 昼食は下北郷土料理の人気店「楠こう」にて ⇨ 七戸十和田駅 14:53 発 ⇨ 東京駅 18:04 着 ご自宅までお荷物を託送します。

※浄土ヶ浜、北山崎、仏ヶ浦ともに悪天候などにより遊覧できない
場合は、乗船代を返金いたします。

■大阪伊丹空港発着プラン

往路：伊丹空港 07:20 発 ⇨ 花巻空港 08:45 着
花巻空港到着後、バスにて盛岡へ。
盛岡では簡単な市内車窓観光と昼食。昼食後、浄土ヶ浜へ。
復路：七戸十和田駅に到着後、引き続き三沢空港へ。
三沢空港 16:50 発 ⇨ 伊丹空港 18:15 着
着後、解散となります。

■最少催行人員：12名様 ■食事：朝食4回、昼食4回、夕食4回
■添乗員：東京駅ご出発時から七戸十和田駅ご到着時まで同行します。伊丹空港ご
出発時から伊丹空港ご到着時まで同行します。
■ホテル：盛岡/浄土ヶ浜パークホテル(和室)、むつ/プラザホテルむつ(洋室)
■利用予定/バス会社：下北交通または同等クラス
■利用予定運送機関：新幹線普通車指定席



下北半島滞在の前には三陸海岸
のちょうど中間、宮古市の郊外、
浄土ヶ浜に位置する、三陸を代表
するホテル「浄土ヶ浜パークホテ
ル」に連泊し、三陸海岸の魅力を
訪ねます。三陸海岸で最も迫力が
あるという北山崎の絶景を、展望
台から見下ろし、そして遊覧船か
らは見上げるようにお楽しみいた



(上)三陸を代表する「浄土ヶ浜」パーク
ホテル「連泊も楽しみます」
(中)三陸海岸の絶景が楽しめる北山崎
(下)神秘的な鍾乳洞「龍泉洞」



宮古市小国地区に残る「末角神楽」

三陸海岸とは
違い、美し
い浜辺が織
りなす風景
が多い種差
海岸。八戸
を抜けると
下北半島も
近いです。



宮古駅～久慈駅間では三陸鉄道にも乗車します

「浄土ヶ浜パークホテル」
に連泊し三陸海岸を満喫

Eコースは、絶景の海岸線が連続する三陸海岸から、下北半島へのコー
スです。三陸海岸を代表する「浄土ヶ浜パークホテル」に連泊しながら、
三陸海岸の見どころを訪ねます。迫力ある海岸線が圧巻の北山崎の絶景
は、展望台からの遊覧船からの両方を楽しめます。また、エメラルドブ
ルーの地底湖が印象的な鍾乳洞「龍泉洞」へ。そして、三陸海岸から下
北半島へ、三陸鉄道への乗車や、リアス式海岸と美しい浜辺の風景が印
象的な、種崎海岸に立ち寄りながらドライブします。

だきます。そして、三陸を代表す
る鍾乳洞「龍泉洞」へ。エメラル
ドブルーの地底湖の美しさが印象
的です。

宮古市小国地区の伝統芸能
「末角神楽」の特別公演を
風光明媚な風景が楽しめる三陸
海岸は、それぞれの地区に伝統的
な芸能、神事などが残っているこ
とで知られています。ただし、ま
だまだ観光のためではなく、地元
の人々の中で息づいているものな
ので、今まで紹介されることがほ
んどありませんでした。今回、
地元宮古市小国地区の皆さんにお
願いし、地元に伝わる「末角(まっ

かく)神楽」の一部を特別に披露
いただくことになりました。毎年
8月に加茂神社、9月に早池峰新
神社に奉納しているもの。このた
びは、雰囲気あふれる地元の造り
酒屋の蔵を会場にして実施。地元
のお酒やおつまみとともに、地元
に伝わる雰囲気でお楽しみくださ
い。

三陸海岸から種差海岸を経て
下北半島へ。
三陸鉄道とバスで結びました

宮古駅から久慈駅までは、三陸
鉄道に乗車します。三陸鉄道の中
でも風光明媚な風景がご覧いた
だけの部分で、かつて「あまちゃ
ん」でも注目された景勝ルートで
す。久慈駅からはバスで八戸まで
続く種差海岸へ。そして八戸の港
をへて下北半島を目指します。三
陸海岸とは

D コース

函館から大間へ
津軽海峡とまぐろの町
大間満喫の旅

5日間



集合・日数・出発日	旅行代金
【羽田空港集合・5日間】 9月29日(月)	¥315,000

(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥30,000にて承ります。)
現地合流プラン：函館空港合流(出発)/七戸十和田駅離泊(帰着) 旅行代金より ¥35,000引き

1	羽田空港 13:00 発 ⇨ 函館空港 14:20 着 ⇨ 函館 (函館市内 の見学へ。西洋館や教会が立ち並び○元町地区、ホテルから も程近い○ベイエリアにご案内します) 【2連泊】(函館泊) □□夕
2	函館 08:00 発 ⇨ 江差 ⇨ 松前 ⇨ 木古内駅 16:32 発 ⇨ 道南 いさりび鉄道に乗車 (津軽海峡沿いに走る列車の旅をお楽しみ ください(注1)) ⇨ 函館駅 17:34 着 (函館泊) 朝昼□
3	午前、自由行動。ご希望の方は、青函連絡船記念館「摩周丸」 見学にご案内します。 函館 ⇨ 五稜郭 ⇨ 函館港 16:00 発 (津軽海峡フェリー) ⇨ 大 間港 17:30 着 ⇨ 大間 (夕食は大間漁港にある浜寿司にてま ぐろのコース料理をお召し上がりください) (大間泊) 朝昼夕
4	朝食は、大間崎の漁師飯のレストランにて。 大間 08:00 発 ⇨ 大間 【まぐろの町大間を知る特別プログラム 大間まぐろデー】 ① 大間の語り部島康子さんによる大間の文化講演 ② 大間散歩(○大間稲荷神社、大間漁港) ③ 大間のまぐろ解体とまぐろ試食 ④ 本州最北端、大間崎散策 ⑤ 大間のまぐろ尽くし丼の昼食 ⇨ 佐井港 (○仏ヶ浦遊覧(注2)) ⇨ 牛滝港 ⇨ むつ 16:00 着 (夕食はホテルにて東通村伝統の「下北の能舞」をご覧いた きながらお召し上がりください) (むつ泊) 朝昼夕
5	むつ 09:00 発 ⇨ 恐山 (●霊場恐山の見学にご案内します) ⇨ 昼食は下北郷土料理の人気店「楠こう」にて ⇨ 七戸十和田駅 14:53 発 ⇨ 東京駅 18:04 着 ご自宅までお荷物を託送します。

※上記は羽田空港発着の日本航空を利用した日程です。その他の
航空便を利用した場合は発着時間が異なります。
(注1) いさりび鉄道は、普通列車(自由席)を利用するため、着
席できないことがあります。
(注2) 悪天候などにより遊覧できない場合は、乗船代を返金いたし
ます。

■最少催行人員：12名様 ■食事：朝食4回、昼食4回、夕食3回
■添乗員：羽田空港ご出発時から東京駅ご到着時まで同行します。
■ホテル：函館/函館国際ホテル(洋室)、大間/サンホテル大間(洋室)※お部屋
が手狭のため、全員シングルルームをご利用いただけます。むつ/むつグランドホ
テル(洋室)
■利用予定/バス会社：下北交通または同等クラス
■利用予定航空会社：日本航空、全日空(普通席)
■利用予定運送機関：新幹線普通車指定席



異国情緒あふれる函館の風景

函館では立地の良い「函館国際ホテル」に宿泊。松前藩
の城下町松前、北前船の港町江差なども含めて、5日間の日程でご案内
いたします。

函館での宿泊は立地の良い
「函館国際ホテル」を
ご用意。松前・江差へも
ご案内します



北前船の拠点として繁栄した江差の町並み ©函館観光コンベンション協会

函館から大間へは津軽海峡フェ
リーで渡ります。飛行機や鉄道で
は体験できない海上からの津軽海
峡や、函館山の風景などは船旅な
らでは。絨毯敷の大部屋タイプが
多いフェリーの中でも数少ない椅
子席をご用意しましたので、くつ
ろいだ気分分海を眺めながらの、
約90分の船旅です。

美しい車窓風景で人気の
「道南いさりび鉄道」に乗車

函館～大間を結ぶ津軽海峡フェリー
「大函丸」。船上から函館山を眺めな
がら大間へと出航します



津軽海峡に沿って走る
道南いさりび鉄道
(イメージ)

函館から大間へは
津軽海峡フェリーで。
快適な椅子席をご用意

ローカル鉄道です。始発駅の木古
内駅から終点の函館駅まで約1時
間のローカル鉄道の旅をお楽しみ
ください。

■各コース共通の旅行条件とご注意

■宿泊施設は特に明記してあるものを除きバスタブ・トイレ付きのお部屋です(大浴場などの施設がある場合、シャワーのみ、あるいはバスタブ・シャワーなしのお部屋となる場合があります)。 ■お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金にて承ります。その場合は洋室シングルルームまたは和室となります。 ■旅行開始日の前日から起算して、さかのぼって14日目にあたる日以降の現地合流、離団はお受けすることが出来ませんので、なるべく早めにお申し出ください。 ■キャンセル料半額制度は国内旅行の場合適用外となります。ご注意ください。 ■マークの説明 ➡=航空機 🚆=列車 🚌=バス 🚗=自動車 朝=朝食 昼=昼食 夕=夕食 □=食事なし ●=入場観光 ○=下車観光

ご旅行条件(抜粋) ●この書面は、旅行業法第12条の4に定める取引条件説明書面および同法第12条の5に定める契約書面の一部となります。別途交付する旅行条件書(全文)をお受け取りの上、必ずご確認ください。

1. 旅行のお申込み・予約・旅行契約の成立

- (1) お申込みは、当社にて当社所定の旅行申込書に所定の事項をご記入のうえ、申込金(40,000円又はパンフレットに明示した場合はその額)を添えてお申込みいただきます。
- (2) 当社は、電話、ファクシミリ、インターネット、Eメールその他の通信手段による旅行契約の予約を承ります。この場合、旅行契約は、予約の時点では成立しておらず、当社が旅行契約の締結を承諾した旨を通知した日の翌日から起算して3日以内に申込書の提出と申込金のお支払いをさせていただきます。この期間内に申込金のお支払いがなされない場合、当社は、予約はなかったものとして取り扱います。
- (3) 旅行契約は、当社が旅行契約の締結を承諾し、申込金を受理した時に成立します。なお、お支払い対象旅行代金や、申込金をクレジットカードを利用、自動引き落とし方法でのお支払い方法を選択されたお客様との旅行契約は、当社が契約の締結を承諾する旨のメールがお客様に到達した時に成立します。旅行契約は、当社が旅行契約の締結を承諾し、申込金を受理した時に成立します。

2. 旅行代金のお支払い

旅行代金は、旅行開始日の前日から起算してさかのぼって21日目に当たる日より前にお支払いいただきます。旅行開始日の前日から起算してさかのぼって21日目に当たる日以降にお

申込みの場合、旅行開始日前の当社が指定する期日までにお支払いいただきます。

3. お支払い対象旅行代金

「お支払い対象旅行代金」とは、「旅行代金として表示した金額」と「追加代金として表示した金額」の合計額をいいます。

4. 旅行代金に含まれるもの

- (1) パンフレット等、当社ホームページの旅行日程に明示した次に掲げるものが含まれます。
 - ① 運送機関の運賃・料金(パンフレット等に特に別途の記載がない限り、航空機の場合はエコノミークラス、鉄道は普通車を利用します。)
 - ② 送迎バス料金、都市間の移動に係るバス料金、観光に伴うバス料金
 - ③ ホテル等の宿泊機関の宿泊料金及び税・サービス料金(パンフレット等に特に別途の記載がない限り1部屋に2名で宿泊した場合を基準にします。)
 - ④ 食事の料金(機内食は除く。)
 - ⑤ その他パンフレット等において、旅行代金に含まれる旨を表示したもの
- (2) 前(1)に記載したものは、お客様の都合により一部利用されなくても払戻しの対象外となります。

5. 旅行代金に含まれないもの

- 第4項の他は、旅行代金に含まれません。その一部を以下に例示いたします。
- (1) 超過手荷物料金(特定の重量・容量・個数を超える分について)
 - (2) クリーニング代、電話料、ホテルのボーイ・メイド等に対する心付けその他の追加飲食等個人的性質の諸費用及びそれに伴う税・サービス料金

- (3) お1人部屋を使用される場合の「1室1名利用追加代金」
- (4) ご希望者のみ参加されるオプションツアー(別途の小旅行)の料金

6. 取消料について

お客様は次に定める取消料をお支払いいただくことによりいつでも旅行契約を解除することができます。

旅行契約の解除期日	取消料(お一人様)
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって20日目(日帰り旅行にあっては10日目)に当たる日以降8日目に当たる日までに解除するとき	お支払い対象旅行代金の20%
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって7日目に当たる日以降2日目に当たる日までに解除するとき	お支払い対象旅行代金の30%
旅行開始日の前日に解除するとき	お支払い対象旅行代金の40%
当日(旅行開始前)に解除するとき	お支払い対象旅行代金の50%
旅行開始後に解除するとき又は無連絡不参加のとき	お支払い対象旅行代金の100%
貸切船舶を利用するとき	当該船舶に係る取消料規定による

ご旅行条件は、2025年6月1日現在の運賃・料金を基準としております。

旅行企画・実施

ワールド航空サービス

WEBもどうぞ

ワールド航空

検索

https://www.wastours.jp

営業時間/月曜日～金曜日 午前9:30～午後5:30(土・日・祝は休業)

ボンド保証会員

旅行業公正取引協議会 会員

□ 東京支店 TEL : 03-3501-4111
東京都千代田区有楽町1-5-1 日比谷マリンビル 4階 〒100-0006 総合旅行業務取扱管理者 松崎 浩

□ 大阪支店 TEL : 06-6343-0111
大阪市北区梅田1-1-3 大阪駅前第3ビル29階 〒530-0001 総合旅行業務取扱管理者 柴尾 祐樹

□ 名古屋支店 TEL : 052-252-2110
名古屋市中区栄3-14-7 RICC栄8階 〒460-0008 総合旅行業務取扱管理者 柴崎 範明

□ 九州支店 TEL : 092-473-0111
福岡市博多区博多駅東2-5-28 博多偕成ビル2階 〒812-0013 総合旅行業務取扱管理者 木村 咲子

□ 札幌支店 TEL : 011-232-9111
札幌市中央区北1条西2-1 時計台ビル 5階 〒060-0001 総合旅行業務取扱管理者 真島 智

□ 湘南支店 TEL : 0466-27-0111
神奈川県藤沢市藤沢484-1 藤沢アンパビル 3階 〒251-0052 総合旅行業務取扱管理者 近 博之

※総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う営業所での取引に関する責任者です。この旅行に関し、担当者からの説明にご不明点があれば、ご遠慮なく上記の旅行業務取扱管理者におたずねください。(株)ワールド航空サービス観光庁長官登録旅行業201号